

我ら方言警備隊 津軽支部

私たちは普段、方言を使うことをはずかしがったりしていませんか？昔からの方言がある地方の人はお年寄りの話が聞きとれないことがあったりしませんか？このままでは方言が使われなくなってしまう！！

方言消滅の危機が迫っている！！ 大変だ！！



出動せよ方言警備隊

・ケース1

泣けば山から もっこくるぞ



これは、津軽に伝わる子守り歌のフレーズである。我々が調査した結果、津軽の子供の大部分がも、このことをおぼけだと思っているが、知らないかの、どちらかだった。



(泣いたら、おぼけが
出るから泣きやみなさい)



(津軽の豪族安東真木軍が
家吉軍と戦った時の恐怖
を歌にした。)

この「もっこ」という言葉の様に、
方言は、昔の言葉が、そのまま残ったり、歴史や文化
など、意味が含まれた言葉がたくさんある。

・ケース2

わ、がらはどキミゆでだはんて
なんと、かねが!
あめーどま!



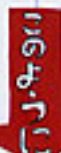
黄味? 君?
かね? 金? あめー?
えー、なあへに?



わいは〜、あめでろって!
そいたは、まいね〜!

・この場合、全然話が喰い違って会話が成立しません。
「キミ」=とうもろこし、「かねが」とは、食べませんか?
「あめでろ」=腐ってる時などに使います。

・この様に津軽弁を理解出来ないため
自然と老人と話さなくなり、孤独な老人が
増えるばかりです。



このまま、方言が消えれば、郷土の文化が消えるばかり
でなく、家族間などでコミュニケーションも減る。これらの問題を解決する為
方言警備隊通称TDG(The Dialect Guard)が日々活動しているのです。

活動報告

・津軽弁助隊長開発 "ソガリンガル"

ソガリンガルは、自動で津軽弁を翻訳するのほ、もちろん標準語を津軽弁に変換もできます。携帯に内蔵し、若者をターゲットにしたタイプと、子供のために安く、単体化し、分かりやすくしたタイプがある。



・郷土愛隊員 メディア大作戦

アニメや映画のDVDの吹き替えを方言も加えてしまう作戦。字幕付きなので誰でも理解できる!また家にながらでもその地方に行った気分を味わえる。



・絆守隊員変身 ジヤイゴマン

老人の言葉が分からなくて困っている子供達を見つけたら、絆守隊員がジヤイゴマンに変身する。そして優しく津軽弁を教入れてくれるぞ! 曲が、た事が大々来いなジヤイゴマンは、非行を志している子供達を正しく指導もするぞ!



・古見似恵三隊員 巡回パトロール

方言を守るには、地道なパトロールこそが大事である。地域の孤独な老人の家で、話しあい手になることで方言を学ぶこともでき、老人の寂しさも解消できる。



任務完了。

1. コミュニケーション

コミュニケーションがとれるようになると
子供・大人(お年寄り)とのつながりが
できる。すると、一人暮らしのお年寄
りにも生きがいが生まれること
まちがいなし!!!

2. 文化の継承

若者たちへと文化が受けつがれていくことでしょう。

3. オウンドアイ♡♡

自分の生まれ育った場所への郷土愛
が生まれる。

